

授業計画書 (シラバス)

教科名	ホットワーク II	曜日 時間	火曜日9:00~16:00 水曜日9:00~17:00	担当者名	ディラン・パルマ
-----	-----------	----------	--------------------------------	------	----------

	前期指導案		後期指導案	
(年間 4回 授業日)	4月	14 15 21 22 28	10月	
	5月	12 13 19 20 26 27	11月	
	6月	2 3 16 17 23 24 30	12月	
	7月	1 7 8 14 15	1月	
	9月	1	2月	
方授 法業	(講義 ・ 実技)		(講義 ・ 実技)	
授業 内容	<p>・4月： 14、*15、21、*22、28 ・5月： 12、*13、19、*20、26、*27 ・6月： 2、3、16、*17、23、*24、30 ・7月： *1、7、*8、14、15 ・9月： 1 - スタジオ日 講評会 6月3日、7月15日 * 講義またはデモンストレーション</p> <p>学生はまず自由制作から始め、その後2つの主要な課題に取り組み - ①スキルの応用、②新たな挑戦 - それぞれにリサーチとクラス批評が伴う。ステートメントの提出も必須。</p> <p>課題1 (6月2日) - パターン、反復、集積 パターン、反復、または集積を取り入れた、一連のオブジェクト、あるいは複数の要素から構成された大型の彫刻やインスタレーションを制作すること。作品のテーマは自由であり、リサーチの対象も自由 (ガラスの歴史、テキスタイル、自然など)。作品はホットガラスを主素材とし、ミクストメディアやファウンド・オブジェを併用してもよい。</p> <p>課題2 (7月15日) - 過去または未来 過去に着想を得た、あるいは未来を想像した作品を制作すること。ある歴史、歴史的なオブジェクトや彫刻、または歴史的な出来事に関連した作品でもよいし、既存の想像上の世界、あるいは自身のイメージネーションや予測にもとづく未来のオブジェクトや彫刻でもよい。</p>			
到達 目標	<p>学生は1年次に習得した技術的基礎を発展させながら、より深い自己探求と新たな創造的挑戦に取り組む - 想像的思考と応用的思考の両方を養う。また、自身の作品についての考えを文章で表現する力も磨く。</p>			
基評成 準価績	<p>出席、授業への姿勢、積極的参加、提出作品、アイデア・スケッチ、リサーチ、作品の展示、完成度の質、およびアイデアの言語化。</p>			
留意 事項	<p>火曜日は、各自の作品・アイデア・目標についてクラスで話し合う日とする。また、チームでの自主制作の時間でもあり、講師およびTAのサポートも受けられる。水曜日は、講義またはデモンストレーション (あるいは両方) から始まる。デモンストレーションへの参加は強く推奨する。講義・デモ後の残り時間は、各グループでの作品制作に充てる。</p>			